

休業手当金請求書

※決定額 円 No.

組合記号	組合員	所属
員証番号	氏名	機関名
勤務できなかった期間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	勤務できなかった理由
標準報酬月額	第 級	請求期間 令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
請求金額	円	円
根拠規定	地方公務員等共済組合法第70条第 号に該当することを証明します。 令和 年 月 日 職名 所属機関の長 氏名	
上記のとおり請求します。 愛媛県市町村職員共済組合理事長 殿 令和 年 月 日 請求者 住所 氏名		
上記の記載事項に誤りがないことを確認しました。 令和 年 月 日 職名 所属機関の長 氏名		

- 必要事項を記載し、所属機関の長を経由して、共済組合に提出して下さい。
- 報酬とは、給料及び各市町の給与条例等で定められている諸手当（期末・勤勉手当を除く）をいいます。
- ※印欄は、記入しないで下さい。

所属機関の長又は給与事務担当者の証明

令和 年 月 1 日から 令和 年 月 日までの期間に対して、
次の金額の報酬を支払ったこと証明します。

期間	本来支給額	給料月額	扶養手当	住居手当	通勤手当	計	
		円	円	円	円	円	円
自 令和 年 月 1 日 割		円	円	円	円	円	円
自 令和 年 月 日 割		円	円	円	円	円	円
自 令和 年 月 日 割		円	円	円	円	円	円
自 令和 年 月 日 割		円	円	円	円	円	円
自 令和 年 月 日 割		円	円	円	円	円	円

令和 年 月 日

(証明者) 所属機関の長又は 職名
給与事務担当者 氏名

※休業手当金計算書

1 標準報酬の日額	今回支給日数 (該当日に○印を付ける。)					
	曜日	令和	年	月	分	
$\frac{\text{円} \times 1 / 22}{\text{(標準報酬月額)}} = \frac{\text{円} \dots (A)}{\text{(10円未満四捨五入)}}$		1	8	15	22	29
		2	9	16	23	30
2 給付日額		3	10	17	24	31
	$(A) \times 50 / 100 = \frac{\text{円} \dots (B)}{\text{(円未満切捨て)}}$		4	11	18	25
		5	12	19	26	
3 給付額		6	13	20	27	
	$(B) \times \frac{\text{日}}{\text{(給付日数)}} = \text{円} \dots (C)$		7	14	21	28
4 報酬との調整						
$\frac{\text{円} \times \text{ / } 10}{\text{(支給割合)}} = \frac{\text{円} \dots (D)}{\text{(円未満切捨て)}} \quad \left(\frac{(D) \times 1}{\text{(勤務を要する日数)}} \right) + \left(\frac{(E) \times 1}{22} \right) = \frac{\text{円} \dots (F)}{\text{(円未満切捨て)}}$						
$\frac{\text{円} \times \text{ / } 10}{\text{(支給割合)}} = \frac{\text{円} \dots (E)}{\text{(円未満切捨て)}} \quad \left((B) - (F) \right) \times \frac{\text{日}}{\text{(給付日数)}} = \frac{\text{円} \dots (G)}{\text{(給付決定額)}}$						

※支給開始日	※前回支給分	※今回支給分
令和 年 月 日分から	令和 年 月 日分まで	令和 年 月 日分まで